河川

洪水から地域を守る

ダム建設事業

（足羽川ダム）

福井豪雨のような水害を繰り返さないために、上流で洪水を調節する足羽川ダムを建設中です。治水を目的とした通常時は水を貯めない流水型ダムです。

流域治水の推進により
地域の安全・安心を向上

気候変動の影響により激甚化・頻発化する水災害から地域を守るため、
流域全体であらゆる関係者と協働し、ハード・ソフト対策を行っています。

遊水地事業
（円山川）

中流域に遊水地を整備することにより、円山川の河川水位低減を図り、下流の豊岡市街地等を水害から守ります。さらに治水事業と併せて自然環境の創出を図ります。

砂防事業
（紀伊山地）

平成23年紀伊半島大水害の対策として、砂防堰堤を中心とした施設の整備を推進し、土砂災害に対する安全度の向上をはかるため、砂防事業を実施しています。

防災意識向上の取り組み

地域の災害リスクの確認や自分の安全を自分で確保する方法を学ぶ住民参加のワークショップを開催し、防災意識の向上に取り組んでいます。

水防演習

水防技術の向上・伝承を図るとともに、防災意識の向上、災害対処能力の更なる向上を図ることを目的に様々な機関が参加する実践的な演習を実施しています。

道路

地域をつなぐ

道路新設・改築事業

（東播丹波連絡道路 西脇北バイパス）

東播丹波連絡道路は、播磨地域と丹波地域の連携を強化するとともに、中国縦貫自動車道、北近畿豊岡自動車道と一体となって広域交流を促進する延長約30kmの地域高規格道路を整備しています。

未来のくらしの大動脈をつくる

国道や高規格幹線道路は、人流・物流を効率化し、地方の産業・経済・観光を支える大動脈。
これら道路網の整備を進め、安全・安心な暮らしを守っています。

道路の維持管理

安全で安心な暮らしを守るため、橋梁やトンネルなどの重要構造物や道路施設の定期的な点検を行い、損傷状況の把握、適切な補修、維持管理を行っています。

無電柱化

安全で快適な通行空間の確保、都市景観の向上、都市災害の防止などの観点から、道路の地下空間を活用した電線共同溝の整備による無電柱化を推進しています。

道路利活用

道路空間を街の活性化に活用したいなどのニーズに応えるべく、賑わいのある道路の構築のための歩行者利便増進道路「ほこみち」の取り組みを推進しています。

港湾

世界とたたかう

国際コンテナ戦略港湾

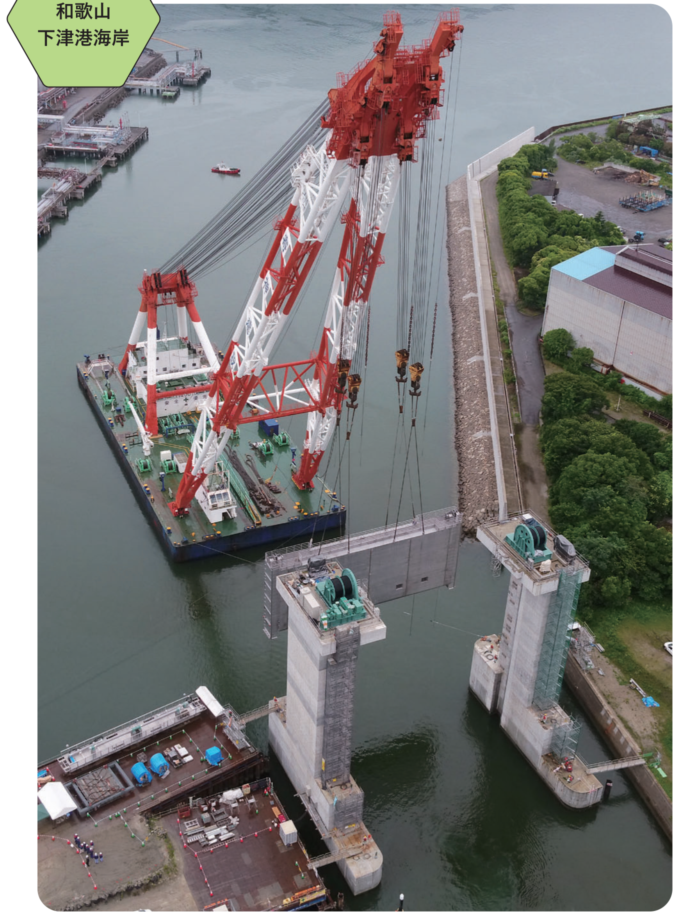
（阪神港〈神戸港・大阪港〉）

日本の国際競争力強化に向けて、コンテナターミナルの機能強化（耐震/増深）を実施し、基幹航路の維持・拡大を進めています。

近畿の元気を支える「みなと」をつくる

人や物が行き交う重要な拠点である港湾の整備をはじめ、津波対策や海辺環境の創造を通じて、
国民の暮らしと経済を守る取組みを進めています。

和歌山 下津港海岸



南海トラフ地震による津波来襲から人命・財産を守るため、護岸や水門など津波対策を進めています。

神戸港

物流効率化や交通課題の緩和を目的に、道路事業者とともに大阪湾岸道路西伸部の整備を進めており、港湾では橋脚設置に伴う航路切替を実施しています。

海の環境学習

生き物が住みやすい環境に配慮した港湾を整備し、小学校などと連携して自然環境学習の場として活用しています。

防災

排水ポンプ車による災害復旧支援

照明車による災害復旧支援

TEC-FORCEが被災地の復旧を支援する

災害発生時の災害復旧を支援するTEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の派遣や、
防災知識の普及啓発活動や防災訓練など、防災・減災対策に取り組んでいます。

TEC-FORCE

緊急災害対策派遣隊

国土交通省が持つ技術力を活かし、台風や豪雨、豪雪、そして地震や津波、火山の噴火などの大規模自然災害が発生して自治体職員だけでは対応が難しい場合に、いち早く被災地に出向き、被災した自治体を応援・支援します。

緊急災害対策派遣隊
による被災地調査

緊急災害対策派遣隊による
被災地調査

災害発生後の海面漂流物回収

防災訓練（災害対策室）

情報通信
電気機械

情報通信・機械技術で地域を支える

地域の安全安心な
暮らしを支える

機械設備

（紀の川大堰）

紀の川大堰は、洪水の安全な流下や既得用水の安定取水の確保など地域の暮らしを支えています。ゲートや操作室などの電気・機械設備の管理を行っています。

無線・衛星・光ファイバーなどの通信ネットワークの整備や河川・道路施設の新設・改良・メンテナンスなど、
最新の技術を駆使し、地域の安全・安心を確保します。

国道を
管理する
CCTV

淀川大堰
ゲート整備

ネットワークを
支えるサーバー
室管理

除雪トラック
整備

インフラ
DX

最新デジタル技術で建設を高度化する

インフラDX推進センター

インフラDX推進センターでは、DXを実行することのできる人材の育成と確保が重要な課題とされており、DXセンターは官民の人材育成確保にかかる「育成」「体験」「広報」に取り組んでいます。

インフラデータをデジタル化し、自由に活用できる環境が整うことにより、
設計から維持管理の高度化、建設業界の生産性向上に繋がるインフラ DX を推進します。

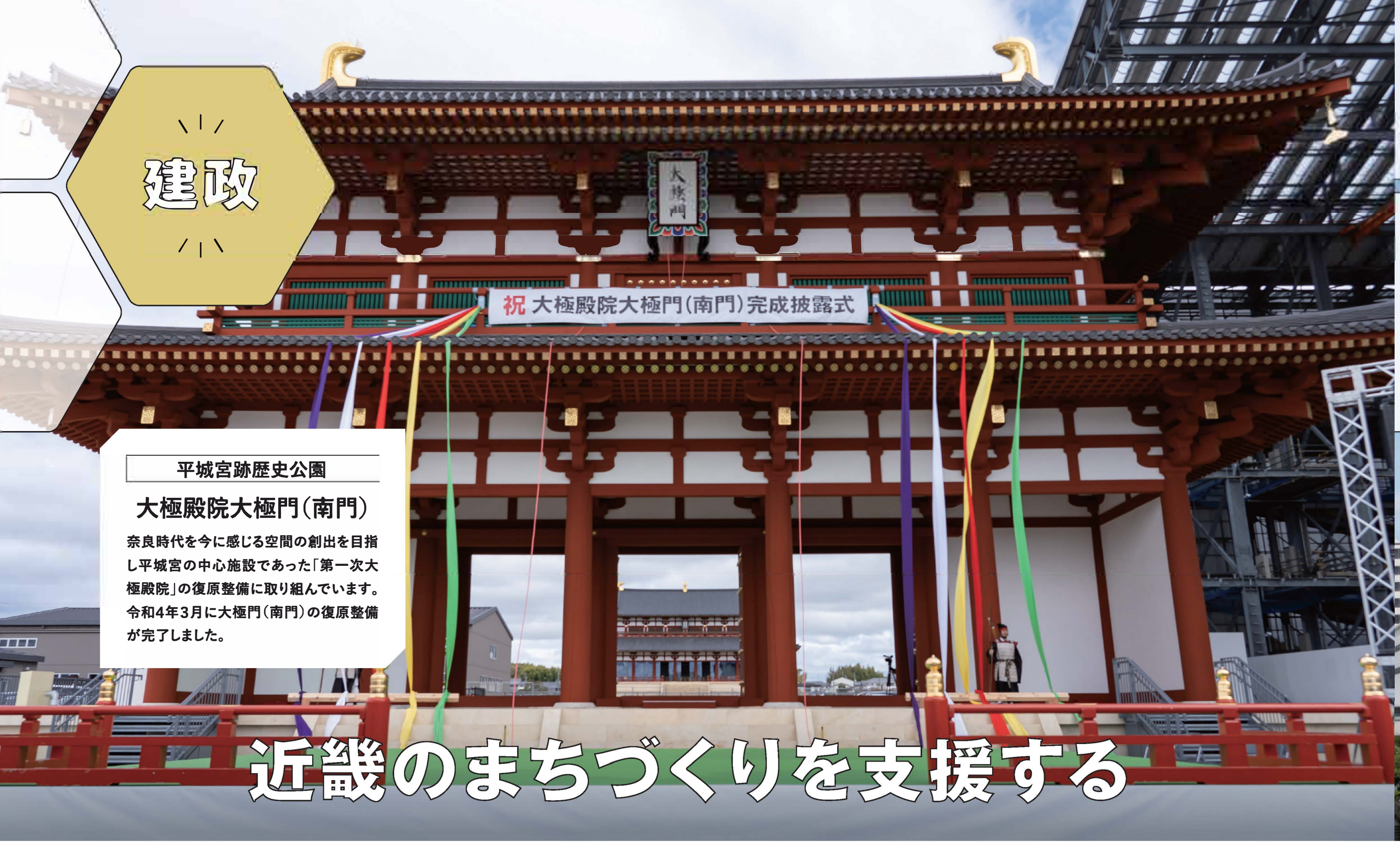
遠隔操作
シミュレーション

建設機械シミュレーターとマルチモニターを使用した実習を行っています。オペレーションルームから事務所敷地内の実機稼働エリアにある建機を遠隔操作する実習を行っています。

ICT
活用研修

ICT施工技術の活用方法やバックホウの遠隔操作体験、基本技術習得といった人材育成を目的とした研修を行っています。

建政



平城宮跡歴史公園

大極殿院大極門(南門)

奈良時代を今に感じる空間の創出を目指し平城宮の中心施設であった「第一次大極殿院」の復原整備に取り組んでいます。令和4年3月に大極門(南門)の復原整備が完了しました。

近畿のまちづくりを支援する

安全で活力のあるまちづくりを目指して、円滑な交通の確保、豊かな公共空間、
良好な市街地の形成など都市基盤の整備を支援します。

国営飛鳥歴史公園

五穀の畑

四神の広場

国営飛鳥歴史公園は、我が国古代の政治と文化の中心地として栄えた飛鳥地方において、その豊かな自然と文化的遺産の保護、活用を図る一環として、「日本人のこころのふるさと」をテーマに、国土交通省によって整備された公園です。

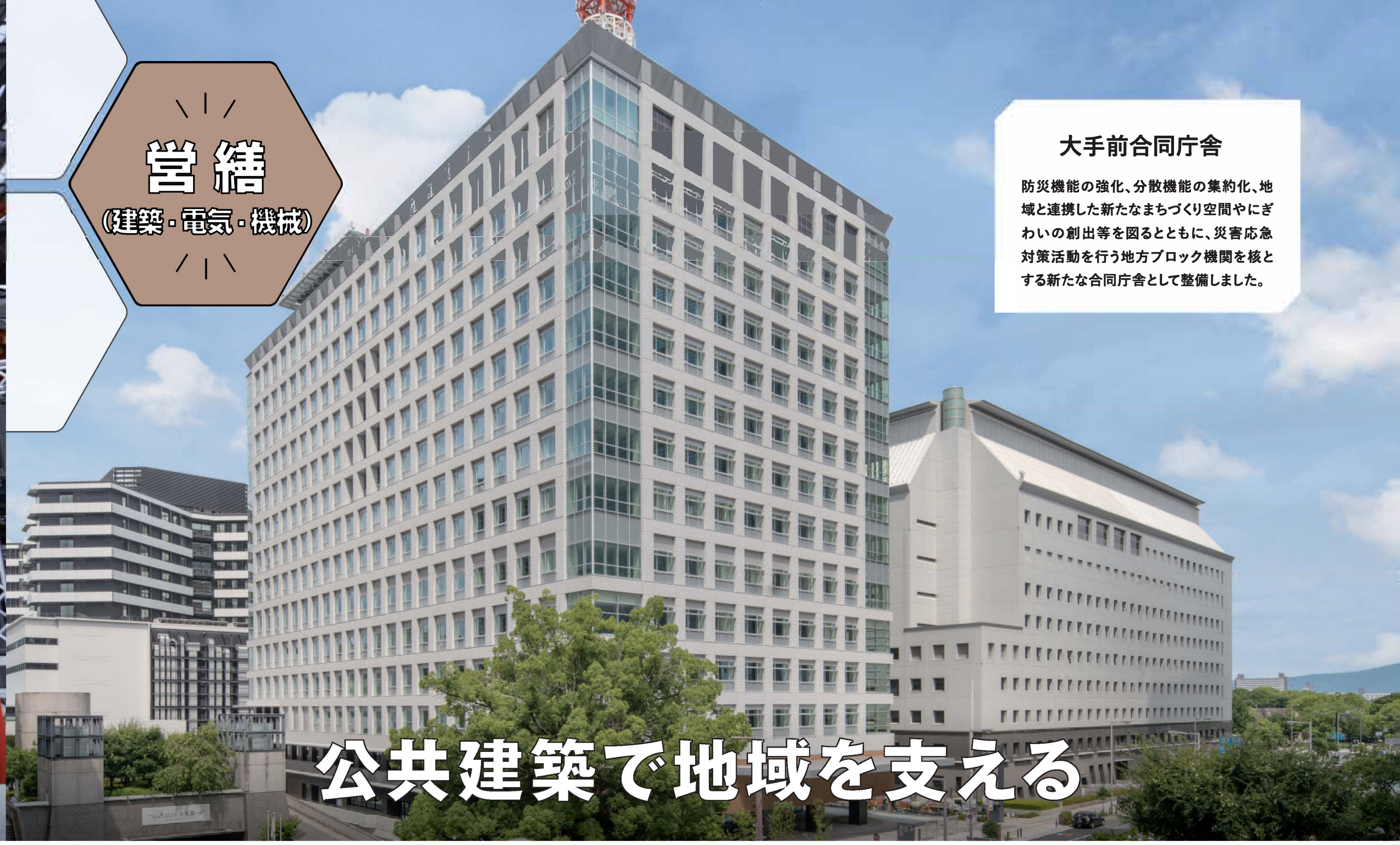
国営明石海峡公園

国営明石海峡公園は、近畿地方の広域レクリエーション需要の増大に対処するため設置する大規模公園として整備を行いました。

淀川三川合流域さくらであい館

京都南部に位置する淀川三川合流域の地域間交流、地域振興、周遊観光の拠点となる国営公園・淀川河川公園のサービスセンターとして整備。地域の拠点として賑わいを創出しています。

営繕
(建築・電気・機械)



大手前合同庁舎

防災機能の強化、分散機能の集約化、地域と連携した新たなまちづくり空間やにぎわいの創出等を図るとともに、災害応急対策活動を行う地方ブロック機関を核とする新たな合同庁舎として整備しました。

公共建築で地域を支える

国の庁舎や、文化施設、歴史的価値の高い建築物などの官庁施設の整備・保全を行っています。
また官庁施設は災害対策拠点となるため、防災機能強化も推進しています。

大手前合同庁舎

木材を利用した2階吹抜け

環境・設備(電気・機械)

機能性と環境に配慮した執務空間

電気設備・機械設備を担当する職員が、照明や空調設備などの整備を通じて、快適で環境にも配慮した空間づくりを行っています。

京都国立博物館平成知新館

多くの文化遺産・豊かな自然が遺された敷地環境と新しい建築を密接に関連づける様に南門や庭園などの外部設計を行い、建築内部の展示ケースやサイン、家具に至るまで総合的な意匠統一を図り、計画全体が国の博物館に相応しい環境となるよう整備しています。

京都御苑中立売休憩所

日本建築の伝統的大屋根と深い軒を現代的に作り上げることをコンセプトとし、内部から軒下まで繋がる大梁は水平に伸びる構造体の力強さを表現しています。